

を可決・承認しました!

決議文は5ページ掲載～

6月定例会は6日に開会し、25日に閉会しました。補正予算2件、条例1件、一般9件、人事3件の計15議案をすべて可決・承認しました。

今回の一般会計補正予算の総額は約6億3900万円で補正後の予算総額は約9億17億1200万円となり、前年度同期に比べ、7・0%の増となっています。

◎一般会計補正予算の主なもの

消防団員確保対策事業

400万円

消防団員確保のための団員手帳交付及び活動服整備に要する経費です。

バルーンミュージアム整備事業

9027万円

バルーンミュージアムの建築及び展示設計等に要する経費です。

熱気球世界選手権準備経費

2236万円

平成28年度の熱気球世界選手権の開催に向けたPR及び各種準備等に要する経費です。



第22回熱気球世界選手権
祝!開催決定!!

応援ありがとうございました。
佐賀バルーンフェスタ組織委員会・佐賀市

電気自動車充電設備設置事業

2987万円

電気自動車の普及促進のため、市内4施設に急速充電器を設置する経費です。



学校校舎等建設事業

2億8750万円

小学校における空調機の設置等に要する経費です。(設計・工事は循環・赤松・北川副・久保泉・川上の5校、設計は勧興・巨勢・高木瀬・鍋島の4校)

カラス対策経費

290万円

カラス被害軽減のための捕獲駆除に要する経費です。

◎条例等の主なもの

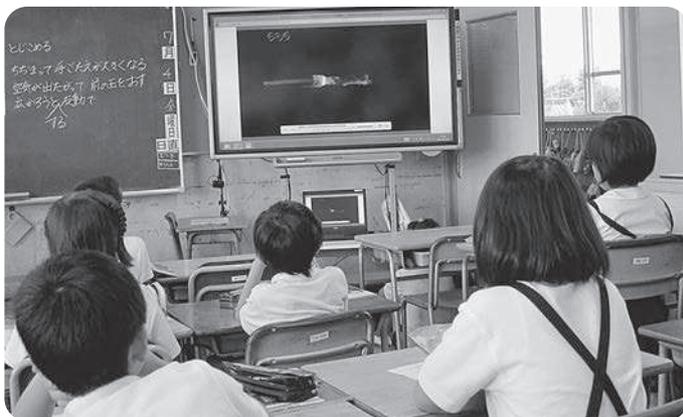
市税条例等の改正

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の税率の見直しや、一定年数を経過した環境負荷の大きい軽自動車に対する税率の上乗せ等を行うものです。

財産の取得について

3億1309万円

小学校と中学校に設置するための電子黒板を購入するものです。これにより、昨年度から進めてきた小中学校の全学年における電子黒板の導入が完了します。(51校461台)



電子黒板を使った授業風景

議 案 質 疑

(質疑) 設計委託業者の決定方法は。

(答弁) 入札による金額の比較だけでなく、提案内容により事業者を決定するプロポーザル方式によって選定したい。

(質疑) 実物大のバルーンの展示は可能か。

(答弁) 実物の展示を考えているが、スペース的に完全に膨らませた状態での展示は難しい。展示の方法を工夫して、その大きさを感じることができる展示にしたい。

(質疑) 設計委託に基づく整備はどのように見込んでいるか。

(答弁) 整備の内容によって大きく変動するが、一般的な例を参考にすると、およそ10億円程度になると見込まれる。

(質疑) この場所(マルキョウ跡地)がよいと判断した理由は。

(答弁) 市街地の活性化、公共交通の利便性、観光客の回遊性という観点から選定。

② 専決処分について(国民健康保険税条例の改正)

(質疑) 改正の内容等について。

(答弁) 1点目は後期高齢者支援金分と介護納付金分の賦課限度額を改正するもの。後期高齢者支援金分については、これまでの賦課限度額14万円を16万円に、介護納付金分については賦課限度額12万円を14万円としている。影響が生じる世帯数は、後期高齢者支援金分が約1,570世帯、介護納付金分が約1,420世帯。2点目は国民健康保険税において世帯の所得に応じて設けられた軽減措置について、軽減対象となる所得基準額の引き上げを行い、軽減対象となる世帯を拡大するもの。軽減には7割、5割、2割の軽減があるが、このうち5割と2割が改正をされる。

(質疑) 賦課限度額の引き上げにより滞納がふえるのではないかと。

(答弁) 影響する世帯の所得分布は比較的収入が多い世帯となっており、今回の改正により滞納がふえることに直接つながるとは考えていない。



① 一般会計補正予算中、バルーンミュージアム整備事業 9,027万円

(質疑) 予算の内訳は。

(答弁) 設計委託料8,337万3,000円。展示内容に係る総合アドバイザーに要する経費、資料収集、バルーンミュージアムとして世界トップクラスであるアルバカーキのバルーンミュージアムとの展示に関する相互連携強化のための経費として435万円。維持管理費用として255万1,000円となっている。

(質疑) 全体構想は。

(答弁) 「夢のあるまち佐賀の象徴」「交流するミュージアム」「佐賀が元気になるミュージアム」「佐賀の新しい文化拠点」。

(質疑) ミュージアムショップを設置するとのことだが、その規模と内容は。

(答弁) 規模は設計の中で検討していく。気球をテーマとしたグッズ、記念品、図書などのほか、佐賀の物産の販売も検討している。

(質疑) ミュージアム自体の位置づけは。

(答弁) 日本初の熱気球をテーマとしたミュージアムであり、日本の熱気球に関する拠点としての機能を持ったもの。また、バルーンという観光素材をもとにして、市内外からの集客を図る観光施設としても位置づけ。

(質疑) 計画の変更等を行う余地はあるか。

(答弁) 平成28年度の熱気球世界選手権までに開館を予定しており、今年度中に建築、展示の設計を完了し、平成27年度から平成28年度にかけて建築工事、展示工事を行う予定。スケジュール的にはぎりぎりの状況であり、現在の計画で進めていく。

(質疑) 設計委託料の内訳は。

(答弁) 建築設計に係るものが4,841万5,000円、展示設計に係るものが3,495万6,000円。

(質疑) バルーン関係者との意見交換は。

(答弁) 2度のワークショップを開催。それぞれのワークショップへの参加者に対してアンケート調査も実施。

議 案 質 疑

（質疑） 軽自動車税の税率引き上げの内容と影響額は。

（答弁） 自動車税との不均衡な部分を是正するために地方税法が改正された。平成27年度から引き上げとなるが、三輪及び四輪以上については、平成27年4月以降に新車で新規登録されたものに限り新税率が適用されるため、既存の車両については旧税率のままとなる。

また、平成28年度から適用となるクリーン化を進める観点からの重課もある。これら全ての影響額は、平成27年度から施行となる税率引き上げによる税収の増を平成25年度決算見込みでの課税対象車両数をベースに試算すると年間4,000万円程度。

また、平成28年度から施行となる重課税による影響額を平成26年度当初での課税対象車両数をベースに試算すると、さらに年間6,800万円程度の増となる見込み。

（質疑） 専決処分ではなく、議会に諮って決めるべきではなかったか。

（答弁） 基本的には議会の承認を得て施行するというのが大原則と認識している。国に対し、議会に諮る時間的な余裕を持って法案を出すようお願いはしている。ことしの場合も、年度末の3月31日に公布されて、4月1日施行ということでやむを得ず専決処分を行った。

③ 市税条例等の改正

（質疑） 法人市民税税割額の税率引き下げの内容と市への影響額は。

（答弁） 国が地域間の税源の偏在を是正し、格差縮小を図るためのもので、市の場合、現行の税率の14.7%を12.1%へ引き下げる。歳入に及ぼす影響は、平成25年度決算見込みをベースに試算すると、年度途中から影響の出る平成27年度分で1億5,000万円程度。年度当初から影響がある平成28年度では、4億円程度の減収になると見込んでいる。

（質疑） 今回（6月議会）で提案した理由は。

（答弁） 車の種類とか購入時期、保持年数の差等で税額が変わるなど、非常に複雑な内容であり、できるだけ早い時期に周知を図るため。

また、税率の変更に伴うシステム改修も必要となり、かなりの時間を要するため。

決議第1号

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」 の世界遺産登録に関する決議

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」は、造船、製鉄・鉄鋼、石炭産業の重工業分野に西洋技術を移転する上で、他に類を見ないプロセスを証明する資産群であり、非西洋地域において近代化の先駆けをなした経済大国日本の原点を訪ね、語り継いでいく上で、極めて重要な遺産群である。

その構成資産の1つである三重津海軍所跡は、近代造船の産業化の揺籃期の段階を示す遺産である。幕末に藩主鍋島直正を中心として近代化事業に取り組んでいた佐賀藩は、幕府が設置した長崎海軍伝習所に多くの藩士を派遣し、そこで習得した洋式艦船に関する技術と情報を基に、佐賀藩海軍を創設するため、安政5年（1858年）に和船の管理地であった三重津に御船手稽古所を設置した。その後、訓練場や藩所有の洋式艦船のメンテナンスに必要な修船施設を整備し、海軍所としての体裁が整えられた。佐賀藩は、限られた情報の中で、西洋技術の獲得と実践を進めるにあたり、日本古来の伝統技術を巧みに用い、試行錯誤を重ねて取り組んだ。その証跡である国内最古の乾船渠を初めとする修船施設の遺構群は、近年の調査により地下に良好な状態で保存されていることが評価され、平成25年3月27日に国史跡として指定された。

幕末から明治にかけての急速な近代化を物語るこのような遺産群を世界文化遺産に登録する取り組みは、平成21年1月の「九州・山口の近代化産業遺産群」のユネスコ世界遺産暫定一覧表への追加記載を皮切りに本格的に進められ、平成26年1月には、日本国政府により、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として推薦書正式版が国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産センターに提出され、順調に展開されている。

そして、本年度夏から秋には、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）が現地調査を行うことになっており、来年度の世界遺産委員会の登録審査に向けた取り組みは、最大の山場を迎えるに至っている。

よって、本市議会は、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録に向けて、市民の機運醸成を図りながら、国、佐賀県並びに関係市町村、関係団体等の機関に働きかけを行い、その目的実現に向かって積極的に取り組むものである。

以上、決議する。

平成26年6月25日

佐賀市議会

総務

一般会計補正予算中、消防団員確保対策事業

〔質問〕 これまでも本市議会において消防団員の処遇改善を求めてきた。活動服の統一は平成18年に一般質問で取り上げられ、計画的に整備していくとの答弁であったが、その進捗はどうか。

〔答弁〕 活動服は、現在約7割が統一されており、県の消防団員確保対策事業補助金を活用して整備したい。

この補助金は3年間をめどとされており、

文教福祉

国民健康保険税条例の改正

〔質問〕 国民健康保険税の賦課限度額について、国の決定に合わせてすぐに判断するのではなく、佐賀市独自で引き上げを遅らせることはできなかったのか。

〔答弁〕 現在、国民健康保険特別会計は非常に厳しい財政状況にあることから、賦課限度額の引き上げもやむを得ないという判断に至った。

現行の補助内容では用途が限定されているため、活動服の整備に全額が充てられるよう県に働きかけている。



市税条例等の改正

〔質問〕 法人市民税の税率の引き下げの影響として、平成25年度決算見込みベースで、

平成27年度は約1億5500万円、平成28年度は約4億円の減収が見込まれる。この減収分は、今年度に施行される地方法人税により補てんされるのか。

〔答弁〕 地方法人税の地方への分配の積算方法はまだ決められていないため減収分の補てんについては未確定であるが、地方には減収分以上の配分があるものと考えられ、制度改正の影響はないと見込んでいる。

〔質問〕 軽自動車税の税率の引き上げは、自動車の買い替えの判断材料にもなるため市民にしっかりと周知すべきではないか。また、原動機付自転車は、使用されていない

でも登録が残っていれば税率引き上げの対象になるため、使用されていないものについては廃車手続き等を行うよう広報していくべきではないか。

〔答弁〕 市報やホームページなどの手段を使い、できるだけ分かりやすく説明して制度の周知を図りたい。また、使用されていない車両に関する手続きについては以前より広報を行っているが、今回は税率が上がっていることもあり、速やかに廃車手続き等を行うようあわせて広報を行っていきたい。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決または承認すべきものと決定。

常任委員会

国民健康保険特別会計補正予算中、特定健康診査等事業費

〔説明〕 平成25年度に実施した特定健診の結果、過去に健診を受けたことのない方の重症化の割合が高いことが顕在化していた。これを受けて、受診率の向上を図るための新たな取り組みとして、受診履歴や受診結果、問診票の回答などを分析し、健康状態や健康意識の度合いといった健診対象者の特性を複数のタイプに分類して、それぞれのタイプに応じた効果的な受診勧奨を行っていく。

〔質問〕 健診対象者の分析をどのような業者に委託しようと考えているのか。

〔答弁〕 この取り組みは八王子市で実施され、非常に良い結果が出ていることから、できれば同じような専門的知識を持った業者に委託したいと考えている。

〔質問〕 費用対効果はどの程度あると考えているのか。

〔答弁〕 国からの補助金を想定しており、財政的な負担はない。健診対象者のうち約1万人をターゲットとし、そのうち1500人程度の方に新たに特定健診を受けていただき、重症化を予防することができれば、

医療費の削減・適正化といった効果が出るのではないかと考えている。

〔質問〕 八王子市では、どれくらい効果があったのか。

〔答弁〕 八王子市では、健診対象者を4つのタイプに分け、それぞれのタイプに合った受診勧奨を行ったところ、全てのタイプで受診率が数%アップするといった効果が出ている。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決または承認すべきものと決定。



経済産業

一般会計補正予算中、バルーンミュージアム整備事業

〔質問〕 調査設計等委託料約8300万円の内容は。

〔答弁〕 内訳としては、建築設計委託料が約4800万円、展示設計委託料が約3500万円となっている。

〔質問〕 展示設計委託料が非常に高額であると感じるが、具体的な業務内容は。

〔答弁〕 ミュージアムの常設展示には、基本構想に基づき、フライトシミュレーター

建設環境

一般会計補正予算中、カラス対策に要する経費

〔質問〕 県においてカラスの捕獲檻を設置し、捕獲を行った実績があるとのことであるが、今回はどのくらいの期間にわたり実証を行うのか。また今回の捕獲に取り組む理由は何か。

〔答弁〕 県は12月から2月までの期間で集中的に捕獲したが、今回は通年をかけて捕獲したいと考えている。今後、中心市街地や住宅地のカラス対策について計画を立て

の設置や映像を使った展示等を考えている。委託する業務内容としては、来館者に対してバルーンをより効果的に周知するため、展示物の説明パネル設置だけでなく、全体的な展示物の配置や構成の企画提案を含めた形を予定している。

〔質問〕 展示設計委託料の積算根拠は。

〔答弁〕 基本構想を策定した委託先に、基本構想の内容に沿った展示を行った場合の見積り金額を積算してもらっている。

〔質問〕 展示業務をすべて委託するのではなく、市が積極的に関わり、地元の人々関係者の意見を展示方法等に生かすこと

の必要がある、その判断材料としても実証結果を収集していきたいと考えている。

同議案中、ごみ処理施設統廃合関連経費

〔説明〕 清掃工場周辺地域の環境整備における問題を解決するため、周辺地域から要望されている統一教会佐賀教会の移転にかかる費用を算定する調査を行うもので、当該建物等の評価を行う調査委託経費である。

〔質問〕 統一教会を旧焼却炉跡地へ移転するための費用等は、まだ算定していないのか。

などで、費用を抑えられるのでは。

〔答弁〕 関係者の意見を取り入れることについては、バルーンに関する知識が豊富なアドバイザーを配置する予定であり、あわせて地元佐賀のバルーン関係者からも意見を聞いていきたい。また、実際の整備の段階では、できるだけ費用を抑える工夫は行いたい。

〔意見〕 ミュージアム整備後のランニングコストの試算については、今後検討することだが、建物整備後、一番問題となるのはランニングコストである。独立採算で運営できれば話は別だが、現実的に入館料

〔答弁〕 統一教会の建物が旧焼却炉跡地へ移転するために必要となる資料が現在のところない。よって今回の調査委託により、この建物がどういう建物であり、どのように活用できるかを含めて検討していきたい。

〔質問〕 統一教会建物の今後の利用目的を早く示す必要があると考えるがどうか。

〔答弁〕 どのような活用策があるかについて庁内で検討しているが、その周辺に清掃工場があり、健康センターや運動施設、また新たにサッカー場も設置していることから、防災拠点も活用策の一つと考えられる。しかし、さらなる活用策を講ずるためにも、

まずはその建物がどういう活用に適合するものなのか、そして、その費用対効果も含めて、早急に検討していきたい。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。



佐賀市清掃工場



で運営費のすべてを賄うことは無理であり、市の経費負担も発生することから、ランニングコストの試算は必要不可欠である。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

常任委員会